

C 近現代の日本と世界 (2) 現代の日本と世界

令和6年7月2日(火)～7月12日(金)
3年1組21名(男子12名 女子9名)

1 単元について

- 本単元は中学校社会科歴史的分野「C近現代の日本と世界(2)現代の日本と世界」の内容に基づくものである。中学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編(平成30年、以下「29年解説」とする。)には次のように記されている。

(2) 現代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (ウ) これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

(1) 単元観

「29年解説」では、課題を追究したり解決したりする活動とは、「単元など内容や時間のまとまりを見通して学習課題を設定し、諸資料や調査活動などを通して調べたり、思考・判断・表現したりしながら、社会的事象の特色や意味などを理解したり社会への関心を高めたりする学習など」のことでありとされている。そのような学習においては「生徒が社会的事象等から学習課題を見だし、課題解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、追究結果をまとめ、自分の学びを振り返ったり新たな問いを見いだしたりする方向で充実を図っていくことが大切である。」と示されており、探究的な学習過程を充実させることが求められていると考えられる。本単元は学習課題の設定や情報収集等の追究の過程を生徒に委ねることが容易で、探究的な学習過程を充実させることに適した単元であると考えられる。

「29年解説」の「第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項(2)・(3)」では、情報収集等に当たって、学校図書館や地域の公共施設、コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用し、生徒の主体的な学びを促すことや、社会的事象等について調べまとめる技能を身に付ける学習活動を重視するとともに、作業的で具体的な体験を伴う学習の充実を図るようにすることが示されている。本単元は、これらの配慮事項を踏まえて設計する。

また、本単元は、歴史的分野で唯一「考察し、表現する」ことに加えて「構想する」ことが求められている単元である。「構想する」とは、「選択・判断する」と同義とされており、社会に見られる諸課題に対する捉え方、関わり方、働きかけ方を問う中で、それらの解決に向けて自分の意見や考えをまとめることであるとされている。本単元が歴史的分野の単元であることに留意し、生徒が歴史的な見方・考え方を働かせながら、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができるようにする必要があると考えられる。

さらに、「29年解説」において、「歴史の大きな流れの中で現代の課題を考え続ける姿勢をもつことの大切さに気付き、公民的分野の学習に向けた課題意識」をもつことができるようにすることが求められており、本単元は、歴史的分野と公民的分野とを接続する役割をもった単元であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒に事前に行ったアンケート(令和6年6月21日実施、19名回答、2名欠席)の結果は次の通りである。

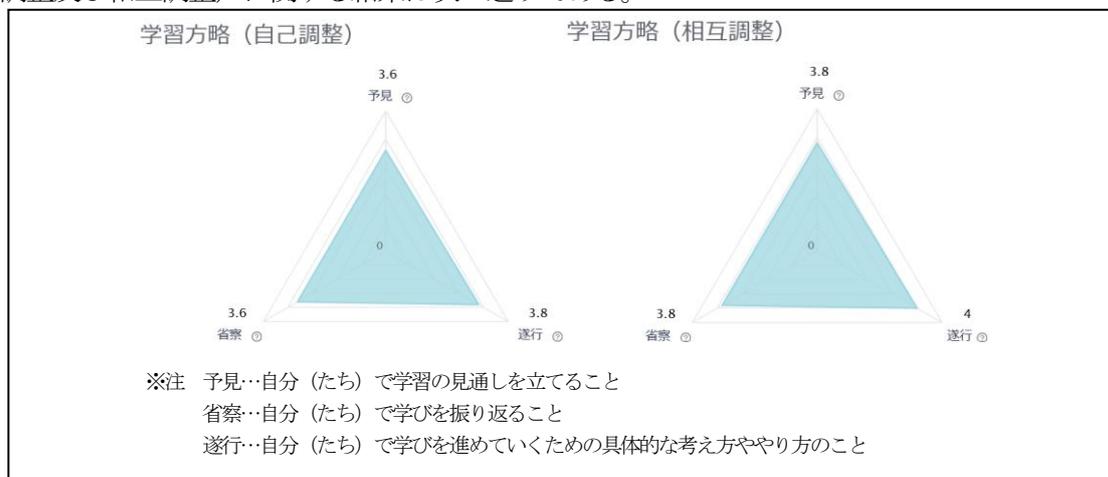
質問項目	肯定的回答
瀬戸田中学校の社会科の授業では、社会との関わりを意識して課題(学習課題)を追究したり解決したりする活動が設定されている。	63.1%
瀬戸田中学校の社会科の授業では、自分の興味・関心に応じた課題(学習課題)を設定して学	26.3%

習する時間が設定されている。	
あなたは、瀬戸田中学校の社会科の授業で自分の興味・関心に応じた課題（学習課題）を設定して学習している。	26.3%
瀬戸田中学校の社会科の授業では、自分の興味や関心に基づいて、自分なりに問いや課題（学習課題）を立てて学んでいる。	26.3%
瀬戸田中学校の社会科の授業では、「よりよい社会にするために解決したい」、「どのようにしたら解決できるだろう」などと思って学習に取り組んでいる。	84.2% (強い肯定は15.8%)

本学級は、日々の授業に積極的に参加しようという意欲をもった生徒が多く、学習課題に真剣に取り組む姿がよく見られる。しかし、アンケートの結果から、生徒が自分の興味・関心に応じた課題を設定したり、興味・関心に基づいて自分なりに問いや課題を立てたりして学ぶことが難しい状況にあることが分かり、授業者がこれまでの授業実践の中でそのように学習させる機会を設定することが不十分であったためであると考えられる。

また、生徒の現代の社会に見られる課題に対する興味や関心の強さには個人差があり、興味や関心が比較的弱い生徒もいると考えられる。

本学級の生徒に事前に行った ScTN 質問紙調査（令和6年4月実施、18名回答、3名欠席）の学習方略（自己調整及び相互調整）に関する結果は次の通りである。



ScTN 質問紙調査の結果から、本学級の生徒は学習方略のうち、遂行の力に比べて、予見と省察の力がやや弱いと考えていることが分かる。

(3) 指導観

① 探究的な学習過程の充実

本単元の課題を追究したり解決したりする活動において、探究的な学習過程を充実させるために、学習課題の設定や情報収集等の追究の過程、発表の仕方などをできる限り生徒に委ねることとする。また、協働的に追究することができるようにグループでの活動とし、かつ、発表の場面ではグループ間での相互評価を通じて学び合うことができるようにする。また、情報収集の際、生徒が多様な媒体から信頼できる情報を収集して、学習課題を追究していくことができるように、一人一台の ICT 端末を活用することに加えて、広島県立図書館の学校支援サービスを活用し、生徒が設定した学習課題に関する書籍を準備することにする。さらに、2種類のルーブリックと予定表を用いて生徒が学びを自己調整及び相互調整できるようにする。

単元の導入では、18歳意識調査「第46回 -国や社会に対する意識（6カ国調査）-」（日本財団2022）を紹介し、生徒の興味・関心を高められるように工夫する。

課題の設定においては、事前に予備調査を行わせた後、アンケートを実施し、生徒が興味・関心をもっているテーマを確認する。このアンケート結果を基に、教師が追究するテーマを設定することで、本単元の学習を生徒の興味・関心に基づくものとする。さらに、生徒が適切に問いを立てることができるように、歴史的な見方・考え方と歴史的な見方・考え方を働かせた問いの例を提示する。

② 公民的分野の学習への意識喚起

歴史的な分野の学習と公民的分野の学習とのつながりを感じさせるため、本単元の学習の過程で困ったこと・

難しかったことについてグループで考え、発表させることを通して、公民的分野で学習する知識や概念の知識不足や、そのことによる現代的諸課題の背景や実態を理解することの難しさ等に気付かせる。そして、それらは公民的分野の学習内容であることを、具体的に公民的分野の教科書を開かせ、例を示しながら確認することにより、歴史的分野の学習だけでなく、公民的分野で学習する知識・概念を用いることでよりよい解決策を考えることができることを示唆する。

(4) 単元の目標

- コンピュータや情報通信ネットワーク、書籍等を活用して、目的に応じて、信頼できる様々な情報を収集し、分かりやすくまとめる技能を身に付ける。【知識及び技能】
- これまでの学習を踏まえて、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現する。【思考力、判断力、表現力等】
- 歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度、及び公民的分野へのつながりを見いだそうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

(5) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校は、次の資質・能力の育成を目指している。

- ①言語・数量・情報 ②問題解決力 ③情報活用力 ④コミュニケーション能力 ⑤主体性・協調性

本単元では育成しようとする資質・能力として、次の2点に重点を置くものとする。

- ③情報活用力 ⑤主体性・協調性

2 単元の評価規準

観点	ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①コンピュータや情報通信ネットワーク、書籍等を活用して、目的に応じて、信頼できる様々な情報を収集している。 ②収集した情報を分かりやすくまとめている。	①これまでの学習を踏まえて、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	①歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ②公民的分野へのつながりを見いだそうとしている。

3 事前学習等及び指導と評価の計画（7時間）

(1) 事前学習等

※年度始めの準備

○広島県立図書館の学校支援サービス、各市町の図書館の団体貸出等のサービスの利用登録申請を行う。

○書籍の送料を計画的に予算に組み込んでおく。(必要な場合)

時	学習活動	指導上の留意点 (○)
事前 1 4 月 ～ 5 月	1. 現代の社会に見られる諸課題について調べる。 (課題把握)	○現代の社会に見られる諸課題にはどのようなものがあるのかインターネットや学校の図書室の書籍を利用して調べさせる。 ○現代の社会に見られる諸課題の中から興味・関心があるものを二つ～三つ選ばせ、簡単に調査させる。
	2. その中から興味・関心があるものを二～三つ選び、調査する。	○Google ドキュメントに調査した内容と URL、書籍のタイトル等をメモさせておく。今後の学習で引き続き活用させる。
	例1 物価高騰 ・現在の日本は、戦争の影響を受けてエネルギーの価格が高くなっていることと、円安というものの影響を受けて、物価が高くなっていると分かった。そのために生活が苦しくなっている人たちがいることも分かった。	
	例2 核兵器 ・ロシアのウクライナ侵攻で核兵器使用の危機が高まっているように思う。核兵器は推定 12,520 発 (2023 年 6 月) が現存しており、「現役核弾頭」の数は近年増加傾向にある。	
	3. 今後追究してみたいテーマについてアンケートに回答する 【本校で目指す資質・能力】 ⑤主体性・協調性	○机間指導しながら、現代の社会に見られる諸課題のうち、生徒が共通して興味・関心をもっているテーマをキーワードとして板書する。次の事前アンケートでは、キーワードに当てはまるテーマは板書したキーワード通りに回答させる。キーワードに当てはまらないテーマは各自考えて回答させる。 ○事前アンケート項目 (Google forms) (1) あなたが調査した現代の社会に見られる諸課題は何ですか。キーワードから現時点で興味・関心が強い順に教えてください。
事前 2		○アンケート結果を基に興味・関心が共通する 2～4 人 (可能な限り 4 人が望ましい) のグループを編成する。 ○広島県立図書館、または、各市町の図書館のレファレンス及び学校支援サービス (団体貸出等のサービス) を活用し、生徒が情報収集するための書籍を準備する。

(2) 指導と評価の計画（7時間）

(□…評定に用いる評価 ■…学習改善につなげる評価)

時	学習活動	指導上の留意点 (○)	評価規準等 【観点】(評価方法)
1	1. 本時の学習の見通しをもつ。	○事前アンケートの結果を紹介し、現代の社会にはどのような課題が見られるか確認する。 ○18歳意識調査「第46回 -国や社会に対する意識(6カ国調査)-」報告書(日本財団2022)では、「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」という項目の肯定的回答の割合が26.9%と低くなっていることを紹介する。	

	<p>○現代の社会には多くの課題が見られるにも関わらず、上記のような結果となっていることについてどう考えるかと発問する。</p> <p>○このような現状を変えていくためには、現代の社会に見られる課題について、追究し、理解を深めていくことがまず大切であることを伝え、単元を貫く課題を提示する。</p>	
<p>【単元を貫く課題】 現代の社会に見られる課題を解明し、歴史から学ぶことで解決に向けたアイデアを考え出そう。</p>		
	<p>○現在行われている解決策を単に調べるだけの活動ではなく、歴史的事象から学ぶことで解決に向けたアイデアを考え出す活動であることを確認する。また、根拠を示しながら自分なりの答えを考え出していく活動であることを説明する。</p> <p>○夏休みのレポート課題までの本単元の学習の流れと2種類のルーブリックを基にした学習の進め方について説明する。2種類のルーブリックは自身の活動をよりよくするためのものであることを伝える。</p> <p>○グループ編成とテーマを伝え、本時のめあてを提示する。</p>	
<p>めあて：グループでテーマについて解明、具体化し、問いを立てよう。</p>		
<p>2. テーマについて解明する。</p>	<p>○学習指導要領に示された歴史的な見方・考え方（原因、推移、比較等）、生徒に分かりやすく活用しやすい表現にして提示する。</p> <p>○歴史的な見方・考え方を働かせた問いの例を提示する。</p>	
<p><歴史的な見方・考え方を働かせた問いの例></p> <p>○その課題は歴史のどこに原因があるのだろう。</p> <p>○同様の課題が見られたとき、歴史の中ではどのような解決策がとられたのだろう。そして、その結果はどうなったのだろう。</p> <p>○課題の解決に向けて、歴史から学ぶことはどのようなことなのだろう。</p>		
<p>【本校で目指す資質・能力】 ③情報活用力</p>	<p>○全ての見方・考え方を働かせなければならないわけではないことを確認する。</p> <p>○グループで、事前1で調査したことを交流させる。不足があればさらに情報収集し、テーマについて解明させる。収集した情報は事前1で配付したGoogleドキュメントにメモさせる。</p>	<p>【ア①】 ■コンピュータや情報通信ネットワーク、書籍等を活用して、目的に応じて、信頼できる様々な情報を収集している。（行動観察、Googleドキュメント）</p>

<p>3. テーマを具体化し、問いを立てる。</p> <p>【本校で目指す資質・能力】</p> <p>⑤主体性・協調性</p>	<p>○時間の制約があるため、テーマを具体化する必要があることと、そのためには「何を解決として捉えるか」と「何を課題と捉えるか」ということを明確にする^{とよいことを説明し、具体化の例を示す。}</p>	<p>【ウ①】■歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(行動観</p>
<p><テーマの具体化の例> 感染症の場合</p> <p>○「感染症を世界で流行させないこと」を解決と捉える場合 「過去の感染症拡大の原因はどのようなものだろう」という問いを立てて調査し、新型コロナウイルスの事例と比較する。天然痘の事例を調査すると、中国や朝鮮半島から日本にもたらされたことや、大航海時代には、欧州からアメリカ大陸にもたらされ大流行したことが分かった。新型コロナウイルスも人の移動が原因で世界に拡大したことから、人の移動を制限することで、感染症を世界で流行させないことができると考える。</p> <p>○「感染症の流行を早期に抑え、死者を減らすこと」を解決と捉える場合 過去の感染症の事例では、どのような流行対策をしたか、そしてその結果はどうだったか調査する。天然痘の事例を調査すると、奈良時代の日本では、対策として奈良の大仏を建てたが、人口の25～35%が死亡した。その後は自然免疫の獲得により、それほど大きな流行にはならなかった。天然痘はワクチンの開発によって1980年に撲滅が宣言された。宗教に頼らずワクチンの開発・接種を進めることで、感染症の流行を早期に抑え、死者を減らすことができると考える。</p>		
<p>○解決と課題をどう捉えるかによって、追究する事例や働かせる歴史的な見方・考え方が異なることを説明する。また、テーマによって、解決と課題のどちらから考えてもよいことを伝える。グループで話し合ったことはGoogleドキュメントにメモをさせ、テーマを具体化し、問いを立てさせる。その際、「どの見方・考え方が使えそう?」、「みんなにとって解決、課題って何か?」、などと問いかけ、ファシリテートする。</p>		
<p>例1 物価高騰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは物価を下げることを解決だと捉えている。そのため、「過去に物価が下落した事例の原因は何だろう」と問いを立てよう。 ・私たちは物価高騰によって生活が困っていることを課題と捉えている。そのため、「過去に物価が上昇した時代は現在のように生活が困ったのか」という問いを立てよう。 		
<p>例2 核兵器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは核兵器が存在していることを課題だと捉えている。そのため、解決策は核兵器の廃絶ということになる。 ・私たちは核兵器の使用の危機が高まっていることを課題だと捉えている。そのため、解決策は核兵器を使用させないことということになる。 		
<p>4. 振り返りを行う。</p>	<p>○追究する活動についてのルーブリックを基に「問いを立てる」の項目について振り返りを行わせる。</p>	
<p>1. 学習の見通しをもつ。</p>	<p>○本時のめあてを提示する。</p>	
<p>2</p>	<p>めあて：計画を立て、テーマについて追究しよう。</p>	
<p>2. 追究の計画を立てる。</p> <p>【本校で目指す資質・能力】</p> <p>⑤主体性・協調性</p>	<p>○予定表を配付し、計画の立て方について説明する。単元の終末までの授業日程や追究する活動についてのルーブリックにも触れつつ、予定表を基に学びを自己</p>	<p>【ウ①】■歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見</p>

	<p>3. テーマについて追究する。 【本校で目指す資質・能力】 ③情報活用力</p>	<p>調整するよう促す。追究する活動についてのループリックでは追究の方法は複数あるとよいと示されていることを確認する。</p> <p>○事前1で配付したGoogleドキュメントに追究した内容とURL、書籍のタイトル等をメモさせる。</p> <p>○机間指導し、問いに対する適切な情報収集の方法等(インターネットでの情報の検索の仕方や役立つサイト、書籍の選び方、教科書のページなど)を助言する。</p> <p>○追究の過程で新たに出てきた問いは時間の許す限り追究できるようにしつつ、テーマから離れないようにサポートする。</p> <p>○各時の終わりにまとめとしてグループで追究した内容を共有させる。予定表を基に進捗を確認させる。</p> <p>○各時の終わりに、追究する活動についてのループリックを基に「予定表の確認と実施」と「さまざまな情報源の利用」の項目について振り返りを行わせる。</p>	<p>られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(行動観察)</p> <p>【ア①】■コンピュータや情報通信ネットワーク、書籍等を活用して、目的に応じて、信頼できる様々な情報を収集している。(行動観察、Googleドキュメント)</p>
<p>4 ・ 5</p>	<p>1. 学習の見通しをもつ。</p> <p>2. 発表の方法を選ぶ。 【本校で目指す資質・能力】 ⑤主体性・協調性</p> <p>3. グループで議論する。 【本校で目指す資質・能力】 ③情報活用力 ⑤主体性・協調性</p>	<p>めあて：グループで解決策を議論し、スライドやポスター等にまとめよう。</p> <p>○Googleスライドやポスター発表の例を示し、まとめ方について説明する。また、いずれの発表方法でも発表時間は3分以内、原稿は900字程度とする。ポスターは模造紙かA3用紙一枚とする。</p> <p>○追究する活動についてのループリック「情報のまとめ」と「問いの解決と課題」について確認し、グループで調査したことを基に議論し、解決策を構想する場面を設定する。調査内容についても「本当にそう言える?」「根拠は?」「なぜ?」「そして?」「じゃあどう考える?」などと問いかけあって、吟味するよう促す。疑問点やさらに知りたいこと、学びたいことも挙げさせる。</p>	<p>【イ①】■これまでの学習を踏まえて、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。(発表スライド・ポスター、行動観察)</p> <p>【ウ①】■歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(行動観察)</p>
	<p>例1 物価高騰</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の日本はエネルギー価格の上昇によって、物価が高くなっていると分かった。過去にも石油危機の際にはエネルギー価格が上昇し、物価が高くなったが、エネルギー価格の上昇の大きな原因は戦争であることが明らかになった。今後は戦争を起こさないためにはどうしたらよいか考えたい。 		

	<p>例2 核兵器</p> <ul style="list-style-type: none"> 核兵器はアメリカで初めて開発され、冷戦期をピークに2割程度まで減ってきた。また、非核兵器地帯や南アフリカの非核化に成功してきた。しかし、核抑止の考え方も根強い。核兵器廃絶のためには、強制力のある国際的なルールが必要だと思う。私たち一人一人にできることはどのようなことがあるのだろうか。 		
	<p>4. Google スライドやポスターにまとめる。 【本校で目指す資質・能力】 ③情報活用力</p> <p>5. 発表の練習を行う。</p> <p>6. まとめと振り返りを行う。</p>	<p>○グループの代表者に Google スライドを作らせ、グループのメンバーと教員に共有させる。あるいは Google クラウドに教員がグループ毎の Google スライドデータをアップする。発表方法をグループで決めさせ、まとめさせる。</p> <p>○追究する活動についてのルーブリックを基に「情報のまとめ」、「スライドやポスターの活用」の項目について、うまくいっているかグループで確認させ、改善を図らせる。</p> <p>○発表の相互評価シートを示しておき(追究する活動についてのルーブリックの「情報のまとめ」、「スライドやポスターの活用」、「伝え方」について相互評価させる)、よりよい発表となるように工夫するよう伝える。</p> <p>○4時間目の終わりには、まとめとして予定表を基に進捗を確認させる。</p> <p>○各時の終わりに、追究する活動についてのルーブリックを基にした振り返りを行わせる。ここでは進度が異なるため、グループ毎に追究する活動についてのルーブリックの項目を選ばせる。</p>	<p>【イ①】■これまでの学習を踏まえて、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。(行動観察)</p>
6	<p>1. 学習の見通しをもつ。</p> <p>めあて：追究したことを発表し、交流しよう。</p> <p>2. グループごとに発表する。 発表は3分以内 相互評価1分 質疑応答2分</p>	<p>○本時のめあてを提示する。</p> <p>○発表の相互評価シート (Google forms) に入力することを考えながら聞かせる。相互評価シートは発表後、発表したグループに共有することと、他のグループの発表の内容と仕方をよりよくするためのものであることを伝える。</p> <p>○各グループ発表は3分で行う。</p> <p>○発表後相互評価シートへの入力1分で行う。その後、2分間で質疑応答を行う。教師も各グループの学習の過程も踏まえて肯定的なコメントをする。</p>	<p>【ア②】■収集した情報を分かりやすくまとめている。(発表スライド・ポスター、行動観察)</p> <p>【イ①】□これまでの学習を踏まえて、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。(発表スライド・ポスター)</p>

	<p>相互評価の視点（追究する活動についてのルーブリックより）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠に基づいて論理的に自分たちの意見がまとめられていたか。 ・スライドやポスターは見やすく、わかりやすいものになっていたか。 ・話し方や身振りは興味や関心を引き、説得力があるものになっていたか。 		
	<p>質疑応答・コメントの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞いて分かったこと。 ・発表者にもっと聞いてみたいこと、もっと知りたいこと。 ・まとめ方や話し方、身振りについて良かったこと。 		
7	<p>1. 本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>めあて：学習のまとめと振り返りをしよう。</p> <p>2. グループで相互評価を確認する。</p> <p>3. 各自、発表について振り返りを行う。</p> <p>4. 本単元のまとめを行う。</p> <p>例1 物価高騰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べていると「円安」や「金融」といった言葉が出てきて、理解することが難しかった。また、歴史的な見方・考え方を働かせて問いを立てることが難しかった。 <p>例2 核兵器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経済制裁」という言葉の意味が分からなくて困りました。グループで分担して計画的に学習を進めることが大変でした。 	<p>○本時のめあてを提示する。</p> <p>○自分たちのグループの相互評価シートにアクセスし、相互評価を確認させる。</p> <p>○相互評価を踏まえて、追究する活動についてのルーブリックを基に、「情報のまとめ」「スライドやポスターの活用」、「伝え方」、「問いの解決と課題」の項目について振り返りを行わせる。</p> <p>○本単元の学習の過程で困ったこと・難しかったことはどのようなことかグループで考え、発表させる。</p>	
		<p>○本単元の学習の過程で理解することが難しいと感じたことは公民的分野の学習内容であることを、公民的分野の教科書を用いて簡単に確認する。歴史的分野の学習だけでなく、公民的分野で学習する概念を用いることでよりよい解決策を考えることができることを示唆し、まとめとする。</p> <p>○Google Forms で18歳意識調査と同様のアンケートを実施し、回答の理由も尋ねる。特に回答の理由に着目し、本単元を通じた意識の変容を肯定的に評価する。</p>	<p>【ウ①】■歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。（アンケート）</p> <p>【ウ②】□公民的分野へのつながりを見いだそうとしている。（アンケート）</p>
	<p>生徒の回答例1（「はい」の理由）</p> <p>自分のグループの発表の相互評価を見たときに、そのテーマについて「もっとこうしたい」「こうしたらいい」という意見があって、共感してくれる人もいたことがわかったので、その人達と協力したら変えることができるのではと思ったから。</p>		
	<p>生徒の回答例2（「いいえ」の理由）</p> <p>今の自分では社会のことを詳しく知らない今の段階では社会を変えることができないと思いました。</p>		

5. 本単元の振り返りを行う。	○2種類のルーブリックを基に、全ての項目について振り返りを行うとともに、振り返りシートに本単元の振り返りを記入させる。 ○夏休みのレポート課題について説明する。	【ウ①】 <input type="checkbox"/> 歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(振り返り) 【ウ②】 <input type="checkbox"/> 公民的分野へのつながりを見いだそうとしている。(振り返り)
-----------------	---	---

4 本時の展開 (第2・3時)

(1) 本時の目標

- ・コンピュータや情報通信ネットワーク、書籍等を活用して、目的に応じて、様々な信頼できる情報を収集し、分かりやすくまとめる技能を身に付ける。【知識及び技能】
- ・歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 学習状況の評価表

【ア①】 ■コンピュータや情報通信ネットワーク、書籍等を活用して、目的に応じて、信頼できる様々な情報を収集している。(行動観察、Google ドキュメント)

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する (C)
学習課題の解決に向けて、複数の媒体を活用して、必要かつ信頼できる情報を収集することができる。	学習課題の解決に向けて、必要かつ信頼できる情報を収集することができる。	学習課題の解決に向けて、必要かつ信頼できる情報を収集することができない。
※行動例 学習課題の解決に向けて、教科書、インターネット、書籍などのうち、複数の媒体を活用して、必要な情報をその信頼性を踏まえて収集することができる。	※行動例 学習課題の解決に向けて、必要な情報をその信頼性を踏まえて収集することができる。	※努力を要する生徒への手だて ・書籍や検索キーワードなど、追究の方法について具体的に助言する。

【ウ①】 ■歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(行動観察)

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する (C)
現代の社会に見られる課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、授業後も現代の課題を考え続けている。	現代の社会に見られる課題を追究、解決しようとしている。	現代の社会に見られる課題を、追究、解決しようとしていない。
行動例 自分の分担となったことについて、2種類のルーブリックや予定表を活用しながら見通しを持ち、他者と協力しながら、課題を追究、解決しようとするとともに、授業後も考え続けたい課題や問いについて表現している。	行動例 自分の分担となったことについて、2種類のルーブリックや予定表を活用しながら見通しを持ち、課題を追究、解決しようとしている。	※努力を要する生徒への手だて ・2種類のルーブリックを示す。 ・予定表をグループで作成させる。 ・追究の方法について具体的に助言する。

(3) 学習の展開

(□…評定に用いる評価 ■…学習改善につなげる評価)

学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 【観点】 (評価方法)
1. 学習の見通しをもつ。	○本時のめあてを提示する。	
めあて：計画を立て、テーマについて追究しよう。		
2. 追究の計画を立てる。 【本校で目指す資質・能力】 ⑤主体性・協調性	○予定表と記入例を配付し、計画の立て方について説明する。予定表を基に学びを自己調整するよう促す。2種類のルーブリックと予定表を確認しながら確実に活動を進めていくことが求められていることを確認する。単元の終わりまでの授業の予定(日程)にも触れて、追究の見通しをもたせる。 ※教師のサポート例 ・情報収集については、誰が、いつまでに、どのような方法で、何を収集していくのか。 ・いつグループで集めた情報を交流するのか。また、いつ解決策を議論するのか。 ・いつからまとめを始め、いつまでにまとめるのか。(まとめの方法と作業分担は議論の後、グループで相談する。) ・いつ発表の練習をするのか。 ・計画を修正しながら学習を進めていくこと。 ・計画を修正する場合は予定表に色を変えて記入していくこと。	
3. テーマについて追究する。 【本校で目指す資質・能力】 ③情報活用力 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">図書の利用</div>	○計画が立てられたグループから追究させる。 ○追究する活動についてのルーブリックでは情報収集の方法は複数あるとよいと示されていることを確認する。また、広島県立図書館や各市町の図書館からテーマに関する図書を借用していることを伝えるとともに、書籍はテーマについて分かりやすく情報がまとめられていることや目次を見ると必要な情報がすぐに見つけられること等を伝え、活用を促す。 ※教師のサポート例 ・物価が下がった過去の事例を教科書やインターネットで探してみよう。 ・物価はなぜ下がるのか、この本に書いてあるみたい。読んでみよう。 ・核兵器の廃絶をテーマにした本があるから読んでみよう。 ○事前1で配付したGoogle ドキュメントに追究した内容とURL、書籍のタイトル等をメモさせる。 ○机間指導し、問いに対する適切な情報収集の方法等(インターネットでの情報の検索の仕方や役立つサイト、書籍の選び方、教科書のページ	【ア①】 ■コンピュータや 情報通信ネットワーク、書籍等を活用して、目的に応じて、信頼できる様々な情報を収集している。(行動観察、Google ドキュメント) 【ウ①】 ■歴史と私たち のつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(行動観察)

	<p>など)を助言する。</p> <p>○追究の過程で新たに出てきた問いは時間の許す限り追究できるようにしつつ、テーマから離れないようにサポートする。</p> <p>※教師のサポート例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1990年代、日本では物価が下がっていたことが分かった。インターネットのあるサイトにはベルリンの壁の崩壊後、グローバル化が進んだことが背景の一つだと書いてあったけど、グローバル化ってどういうことだろう。またの機会に調べてみよう。 ・物価が下がっていた時期でも、必ずしも生活が楽になったということではないみたい。それはなぜだろう。解決のあり方を考え直す必要があるのかな。 ・核兵器の数がピーク時に比べて減少しているのはなぜだろう。廃絶するためのヒントになるかもしれないから調べてみよう。 <p>○各時の終わりにまとめとしてグループで追究した内容を共有させる。予定表を基に進捗を確認させる。</p>	
<p>4. まとめを行う。</p>		
<p>※予想される生徒の発言等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活が楽になるには、物価上昇と合わせて所得も上昇しないといけないだね。 ・デフってどういう意味なのかな。 ・次の時間はなぜ核兵器の数が減少したのか調べてみよう。 ・私は予定より少し遅れているから、次の時間までに、追加で情報を集めておくれ。 		
<p>5. 振り返りを行う。</p>	<p>○各時の終わりに、追究する活動についてのルーブリックを基に「予定表の確認と実施」と「さまざまな情報源の利用」の項目について振り返りを行わせる。</p>	
<p>※予想される生徒の発言・記述等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書から物価が下がった事例を探して、それについてインターネットを使って追加で情報を調べることができた。 ・本を活用して核兵器の廃絶について情報収集することができた。インターネットではニュースの記事からも情報を集めることができた。 ・本と教科書で情報を集めた。家で保護者の人に当時の様子を聞いてみようと思う。 ・予定より早く進めることができたけど、新しい疑問が出てきたので、次の時間はそれについて調べたい。 		

(4) 板書計画

めあて 計画を立て、テーマについて追究しよう。

本時の流れ

1. 予定表の作成 — 修正しながら進める。
2. 追究
情報収集（教科書、本、インターネット等）

まとめ

各自の終わりにグループで情報を共有

振り返り

追究する活動についてのルーブリック

「予定表の確認と実施」

「さまざまな情報源の利用」の項目について

(5) ルーブリック

追究する活動についてのルーブリック（評価表）

プロセス	自己評価の項目	評価 (C)	評価 (B)	評価 (A)	評価 (S)
課題の設定	問いを立てる	問いを立てることができなかった。	問いは立てられたが、歴史的な見方・考え方を働かせられず、調べればすぐわかるような問いになってしまった。	歴史的な見方・考え方を働かせ、深く調べなければ解決できないような問いを立てることができた。	自分自身で歴史的な見方・考え方を働かせ、深く調べなければ解決できないような問いを立てることができた。
研究計画の立案	予定表の確認と実施	予定表を確認していなかった。	予定表を確認しながら進めたが、作業が遅れたことがあった。	予定表を確認しながら、作業が遅れないように調整して進めることができた。	予定表を確認しながら、作業が遅れないように調整して進めることができた。予定より早く進められたこともあった。
情報の収集と選択	さまざまな情報源の利用	問いを解決するのに必要な情報を選び取ることができなかった。	問いを解決するのに必要な情報の一つを選び取ることができた。	問いを解決するのに必要な情報を二つ以上選び取ることができたが、一つの情報源（書籍、インターネット、教科書等）からであった。	問いを解決するのに必要な情報を二つ以上選び取ることができ、複数の情報源（書籍、インターネット、教科書等）からであった。
情報のまとめ	情報のまとめ	複数の情報をまとめることはできなかった。	複数の情報をまとめることはできたが、結論を導くことや自分の意見を考えることができなかった。	複数の情報をまとめて結論を導き、根拠に基づいた自分の意見を考えることができた。	複数の情報をまとめて結論を導き、根拠に基づいた自分の意見を考えることができた。主張を裏付けるための根拠として不要あるいは重要ではない情報は選び取らなかった。
発表について	スライドやポスターの活用	文字の大きさや分量、配色などが見にくく伝わりにくい。	文字の大きさや分量、配色などのいずれか一つは見やすいものになるよう工夫できた。	文字の大きさや分量、配色などのいずれか二つ以上は見やすいものになるよう工夫できた。	文字の大きさや分量、配色などのいずれか二つ以上は見やすいものになるよう工夫できた。順序や配置も工夫できた。
	伝え方	話し方が不明瞭で声に抑揚がなく、内容が伝わりにくい。	はっきりと話し、声のトーンには説得力がある。	はっきりと話し、声のトーンには説得力がある。アイコンタクトやジェスチャーも取り入れている。	はっきりと話し、声のトーンには説得力がある。アイコンタクトも一定して行い、興味や関心を引くようなジェスチャーも活用している。
学習活動の評価	問いの解決と課題	問いを解決することができなかったが、反省点や次に取り組みたいことも十分に考えることができた。	問いを解決することができ、理解を深めることができたが、残された課題は何か考えることができなかった。	問いを解決することができ、理解を深めて、今後の課題を考えることができた。	問いを解決することができ、理解を深めることができた。今後の課題や新たな疑問、さらに調べたいことを考えることができた。
	学習過程の評価	ルーブリックを活用して学習の仕方を振り返ることができず、改善点を考えることができなかった。	ルーブリックを活用して学習の仕方を振り返り、学習によって身に付いたこと、または改善点の一つ考えることができた。	ルーブリックを活用して学習の仕方を振り返り、学習によって身に付いたことや改善点を二つ以上考えることができた。	ルーブリックを活用して学習の仕方を振り返り、学習によって身に付いたことや改善点を二つ以上考え、次の目標を決めることができた。

教科の学習についてのルーブリック（評価表）

資質・能力 \ 評価	評価（C）	評価（B）	評価（A）
知識・技能	学習課題の解決に向けて、必要かつ信頼できる情報を収集することができない。	学習課題の解決に向けて、必要かつ信頼できる情報を収集することができる。	学習課題の解決に向けて、複数の媒体を活用して、必要かつ信頼できる情報を収集することができる。
思考・判断・表現	現代の社会に見られる課題について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、表現していない。	現代の社会に見られる課題について、その課題の形成に関する歴史的経緯や、その結果や影響などに着目したり、現在と過去を関連付けたりして、課題意識をもって多面的・多角的に考察したことを表現している。	現代の社会に見られる課題について、その課題の形成に関する歴史的経緯や、その結果や影響などに着目したり、現在と過去を関連付けたりして、課題意識をもって多面的・多角的に考察したり、その解決に向けて構想したりしたことを表現している。
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会に見られる課題を、歴史を踏まえて、追究、解決しようとしていない。	現代の社会に見られる課題を、歴史を踏まえて、追究、解決しようとしている。	現代の社会に見られる課題を、歴史を踏まえて、新たな疑問をもったり、ルーブリックや予定表を活用したりしながら主体的に追究、解決しようとしている。

(6) 予定表

3年 組 番 氏名 _____

予定表

日付	時	活動内容	自分がすること
月 日 ()	1	問いを立てる。	
月 日 ()	2	計画を立てる。	
月 日 ()	3		
月 日 ()	課外	情報を収集する。	
月 日 ()	4		
月 日 ()	5		
月 日 ()	6	発表・交流 (相互評価)	
月 日 ()	7	まとめ・振り返り	
夏休み	課外	個人レポート	

グループで2～5時の間の計画を立てて、上の表に記入しよう。決めることは次の通りです。

- ・情報収集については、誰が、いつまでに、どのような方法で、何を収集していくのか。
- ・いつグループで集めた情報を交流するのか。また、いつ解決策を議論するのか。
- ・いつからまとめを始め、いつまでにまとめるのか。(まとめの方法と作業分担は議論の後、グループで相談。)
- ・いつ発表の練習をするのか。

計画を立てたら、この予定表をもとに活動を進めよう。グループでの振り返りの時間などに、必要があれば計画を見直して進めていこう。

予定表

日付 月 日 ()	時	活動内容	自分がすること
月 日 ()	1	問いを立てる。 計画を立てる。	
月 日 ()	2		日本の奈良時代における天然痘の歴史 ・どのように広まったのだろうか？ ・どのくらいの被害があったのだろうか？ ・どのように対処したのだろうか？ ・その結果はどうだったのだろうか？
月 日 ()	3	グループで収集した情報を共有する。 ⇒新たな疑問や足りない情報について分担して収集する。	調べ方 ・インターネット ・本
月 日 ()	課外	情報を収集する。	
月 日 ()	4	解決策を議論する。まとめの方法と分担を決める。	この例は初めの計画を示しています。空欄になっているところに加えて記入していったり、期限を変更したりして、本単元の授業全体を通して活用してください。 初回 鉛筆かシャーペン 2回目 赤ペン 3回目～ 青ペン（なければ他の色） で記入する色を変えてください。
月 日 ()	5		
月 日 ()	6	発表・交流（相互評価）	
月 日 ()	7	まとめ・振り返り	
夏休み	課外	個人レポート	

グループで2～5時の間の計画を立てて、上の表に記入しよう。決めることは次の通りです。

- ・情報収集については、誰が、いつまでに、どのような方法で、何を収集していくのか。
- ・いつグループで集めた情報を交流するのか。また、いつ解決策を議論するのか。
- ・いつからまとめを始め、いつまでにまとめるのか。（まとめの方法と作業分担は議論の後、グループで相談。）
- ・いつ発表の練習をするのか。

計画を立てたら、この予定表をもとに活動を進めよう。グループでの振り返りの時間などに、必要があれば計画を見直して進めていこう。